

## 令和6年度事業報告書

### 1. 事務所

東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館内

### 2. 設立年月日

平成12年12月1日（平成23年4月1日より公益財団法人認定）

### 3. 基本財産

392,772,863 円

### 4. 役員（令和7年3月31日現在）

役職	氏名	所属団体等
理事長	高橋英登	(公社)日本歯科医師会会長
副理事長	吉岡貴司	サンスター(株)取締役副会長
副理事長	蓮池芳浩	(公社)日本歯科医師会副会長
副理事長	小林慶太	(公社)日本歯科医師会日本歯科総合研究機構研究員
専務理事	小玉剛	(一社)東京都東久留米市歯科医師会会長
常務理事	山本秀樹	(公社)日本歯科医師会常務理事
常務理事	寺島多実子	(公社)日本歯科医師会常務理事
常務理事	三代知史	神戸市中央区歯科医師会会長
常務理事	近藤太郎	近藤医院院長
理事	芦谷浩明	(株)ロッテ執行役員・中央研究所所長
理事	飯島勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構機構長
理事	伊藤明彦	(公社)日本歯科医師会常務理事
理事	上野尚雄	国立がん研究センター中央病院歯科医長
理事	小林隆太郎	日本歯科医学会副会長
理事	住友雅人	(一社)日本歯科医学会連合理事長
理事	田口円裕	東京歯科大学歯科医療政策学教授
理事	谷征大	(株)ロッテ中央研究所チューイング研究部部長
理事	柘植紳平	(公社)日本学校歯科医会会長
理事	中原賢	日本歯科大学副学長
理事	西永英司	ライオン(株)執行役員・サステナビリティ推進部長
理事	前田真理子	サンスター(株)研究開発統括部 ヘルス&ビューティー研究開発部副部長
理事	丸山博之	サンスター(株)プロケアチャンネル営業部学術情報グループ長
理事	山中一剛	(一社)日本歯科商工協会会長
理事	山本美登里	(公社)日本歯科医師会日本歯科総合研究機構主任研究員
理事	吉田直美	(公社)日本歯科衛生士会会長

監 事	熊 澤 榮 三	(公社)福岡県歯科医師会顧問
監 事	酒 井 昭 則	(一社)岡山県歯科医師会顧問

## 5. 評議員 (令和7年3月31日現在)

氏 名	所 属 団 体 等
藤 田 純	(公社)福島県歯科医師会常務理事
大 島 修 一	(一社)埼玉県歯科医師会会長
井 上 恵 司	(公社)東京都歯科医師会会長
良 知 義 弘	(一社)静岡県歯科医師会副会長
橋 本 芳 紀	(一社)兵庫県歯科医師会会長
橋 本 成 人	(一社)愛媛県歯科医師会会長
脇 田 晴 彦	(一社)大分県歯科医師会会長
森 野 隆	(公社)日本歯科技工士会会長
齋 藤 秀 子	(公社)日本学校歯科医会副会長
渡 辺 啓 介	(一社)日本歯科商工協会副会長
渡 邊 浩 次	サンスター(株)プロケアチャンネル統括部長
満 武 純	ライオン(株)グローバルオーラルヘルスケア事業開発部シニアフェロー
川 治 久 邦	パナソニック(株)ビューティ・パーソナルケア事業部 パーソナルブランドマネジメント部長
岡 林 一 登	(株)ロッテ中央研究所嚙むこと研究部部長
鏑 溝 和 子	(公社)母子保健推進会議理事長
三 橋 裕 行	(一社)日本家族計画協会代表理事理事長
植 村 大 輔	(公財)母子衛生研究会事務局長
下 浦 佳 之	(公社)日本栄養士会専務理事
田 中 久美子	(一財)日本食生活協会会長
森 亨	(一財)日本公衆衛生協会会長

## 6. 事務局

職員4名 嘱託1名

## 7. 賛助会員 (令和7年3月31日現在)

A会員 (歯科医師会) ..... 250 歯科医師会  
日本歯科医師会(1)、都道府県歯科医師会(47)、郡市区歯科医師会(202)

B会員 (団体・会社) ..... 36 団体・会社

### ○団体

日本歯科衛生士会、日本歯科技工士会、日本学校歯科医会、日本歯科器械工業協同組合、  
日本歯科材料工業協同組合、日本歯科用品卸商業組合、日本歯科用品輸入協会、  
日本歯材同友会、日本歯科用品商協同組合連合会、日本歯磨工業会 他(15 団体)

### ○企業

サンスター(株)、ライオン(株)、(株)ロッテ、パナソニック(株)、(株)ジーシー昭和薬品、  
デンタルプロ(株)、アサヒプリテック(株) 他(21社)

C会員（個人）…………… 210名  
○歯科医師(106名)  
○歯科医師以外の個人(104名)

## 8. 会 議

### (1) 理事会

#### ① 第5回理事会

開催日時 令和6年5月29日（水）午後5時～6時

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館701・702会議室

出席者 出席理事数22名、出席監事数2名

出席した理事の氏名

高橋英登、吉岡貴司、小林慶太、小玉 剛、山本秀樹、寺島多実子、三代知史、近藤太郎、  
小林隆太郎、柘植紳平、中原 賢、西永英司、山本美登里

Web会議により出席した理事の氏名

蓮池芳浩、飯島勝矢、上野尚雄、住友雅人、田口円裕、谷 征大、中谷道子、丸山博之、  
吉田直美

出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠席者 欠席理事数3名

欠席した理事の氏名

芦谷浩明、伊藤明彦、中尾潔貴

議長の氏名

定款第39条の規定に基づき、高橋英登理事長が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数25名のうち過半数の22名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また本理事会はWeb会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。なお、この状態は本会終結の時まで継続した。

1. 開会の辞 副理事長 蓮池芳浩

2. 挨拶 理事長 高橋英登

3. 報告

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

#### (1) 会務報告

議長の求めに応じ、小玉専務理事より会務現況として、以下の事項について報告がなされた。

①第4回理事会の開催、②第26回評議員会の開催、③監事会の開催、④会誌「8020」

の発行、⑤国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑥令和6年度8020運動ポスター募集、⑦理事長賞の贈呈、⑧噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑨ロゴマークの普及事業、⑩調査研究事業、⑪助成事業（歯科保健活動助成事業・8020公募研究助成事業）、⑫後援等名義使用の許可、⑬8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第14弾）、⑭会員レターの発行

(2) その他

#### 4. 議 事

##### 第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算について

定款第10条第1項「本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの附属明細書、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を経たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする。」の規定により、令和6年6月18日開催の第27回評議員会にて諮る旨提案がなされた。

小玉専務理事より令和5年度事業報告について、山本常務理事より令和5年度収支決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録に関して、資料に基づき説明がなされた。また、公益事業において剰余金が生じているため、これを特定費用準備資金として積立て、将来にわたって計画的に当該公的目的事業の事業費に充てていくことが説明されたのち、熊澤監事より監査報告が行われ、全員異議なく承認した。

- 噛むカムチェックガム事業積立資産
  - ・ 噛むカムチェックガム事業費
  - ・ 計画期間：令和5年度～令和8年度（4年間）
  - ・ 実施予定：令和6年度～令和8年度
  - ・ 450万円（支出見込額及び過去実績に基づき算出）

##### 第2号議案 公益財団法人8020推進財団定款の一部改正について

蓮池副理事長より、公益財団法人8020推進財団定款の一部改正について、定款第49条「この定款は、評議員会において、議決に加わることのできる評議員の3分の2以上の議決を経て変更することができる。（以下略）」に基づき、令和6年6月18日開催の第27回評議員会にて下記のとおり諮る旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

(下線部改正箇所)

改正条文	現行条文
(前略)	(前略)
第2章 目的及び事業	第2章 目的及び事業
(中略)	(中略)
(事業)	(事業)
第4条 (現行どおり)	第4条 本財団は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1) (現行どおり)	(1) 8020運動の推進の普及及び啓発に関する事業
(2) (現行どおり)	(2) 8020運動の推進に必要な情報の収集、分析及び提供に関する事業

<p>(3) (現行どおり)</p> <p>(4) (現行どおり)</p> <p>(5) (現行どおり)</p> <p>2 前項の事業については、<u>国内外</u>において行うものとする。</p> <p>(中略)</p> <p>(事業報告及び決算)</p> <p>第10条 本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの<u>附属明細書</u>、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を経たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする。</p> <p>2 (現行どおり)</p> <p>3 (現行どおり)</p> <p>(中略)</p> <p><u>附則</u></p> <p><u>この定款は、令和6年6月18日より施行する。</u></p>	<p>(3) 8020運動の推進に必要な調査及び研究に関する事業</p> <p>(4) 8020運動の推進に必要な活動に対する助成に関する事業</p> <p>(5) その他本財団の目的を達成するために必要な事業</p> <p>2 前項の事業については、<u>日本全国</u>において行うものとする。</p> <p>(中略)</p> <p>(事業報告及び決算)</p> <p>第10条 本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの<u>付属明細書</u>、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を経たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする。</p> <p>2 前項の財産目録等については、毎事業年度終了後3か月以内に行政庁に提出しなければならない。</p> <p>3 本財団は、前項の評議員会の終結後直ちに、法令の定めるところにより、貸借対照表を公告するものとする。</p> <p>(中略)</p> <p>(新設)</p>
--	---

第3号議案 第27回評議員会の開催について

小玉専務理事より、定款第36条理事会の権限第1項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下のとおり第27回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について提案がなされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人8020推進財団  
第27回 評議員会議事次第

日 時 令和6年6月18日(火) 午後3時  
場 所 歯科医師会館 701・702会議室 (WEB併用)

1. 開会の辞
2. 議長の選出
3. 議事録署名人の選任
4. 挨拶
5. 報告  
(1) 会務報告  
(2) その他
6. 議 事  
第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算について  
第2号議案 公益財団法人8020推進財団定款の一部改正について
7. 協 議  
(1) 第22回フォーラム8020について  
(2) その他
8. 閉会の辞

第4号議案 令和6年度公募研究課題の採択及び助成交付額について

小林副理事長より、8020達成のための歯科保健に係わる公募研究に対する助成事業として8020調査研究委員会より報告のあった審査結果に基づき令和6年度公募研究課題を採択し、助成交付を行う旨の説明がなされ、全員異議なく承認した。

5. 協 議

(1) 第22回フォーラム8020について

小林副理事長より、第22回フォーラム8020の企画案について説明がなされた後、意見交換がなされた。

(2) その他

6. 閉会の辞

副理事長 吉岡貴司

議事録署名人

理事長	高橋	英登
監事	熊澤	榮三
監事	酒井	昭則

## ② 第6回理事会

開催日時 令和6年10月9日(水)午後3時～4時

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館801・802会議室

出席者 出席理事数20名、出席監事数2名

出席した理事の氏名

高橋英登、吉岡貴司、蓮池芳浩、小林慶太、小玉 剛、山本秀樹、寺島多実子、三代知史、近藤太郎、伊藤明彦、小林隆太郎、住友雅人、田口円裕、西永英司

Web会議により出席した理事の氏名

上野尚雄、谷 征大、柘植紳平、中原 賢、丸山博之、吉田直美

出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠席者 欠席理事数5名

欠席した理事の氏名

芦谷浩明、飯島勝矢、中尾潔貴、中谷道子、山本美登里

議長の氏名

定款第39条の規定に基づき、高橋英登理事長が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数25名のうち過半数の20名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また本理事会はWeb会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。なお、この状態は本会終結の時まで継続した。

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1. 開会の辞 | 副理事長 蓮池芳浩 |
| 2. 挨拶   | 理事長 高橋英登  |
| 3. 報告   |           |

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

### (1) 会務報告

議長の求めに応じ、小玉専務理事より会務現況として、以下の事項について報告がなされた。

- ①第5回理事会の開催、②第27回評議員会の開催、③会誌「8020」の発行、④第22回フォーラム8020、⑤噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑥ロゴマークの普及事業、⑦調査研究事業、⑧助成事業(歯科保健活動助成事業・8020公募研究助成事業)、⑨後援等名義使用の許可、⑩会員レターの発行、⑪令和6年度歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会(令和4年度報告より)

### (2) その他

#### 4. 議 事

##### 第1号議案 令和6年度 歯科保健活動事業の採択及び助成交付額について

小林副理事長より、地域歯科保健活動への助成事業として地域歯科保健活動推進委員会より報告のあった審査結果に基づき令和6年度歯科保健活動事業を採択し、助成交付を行う旨の説明がなされ、賛成挙手多数により承認された。

なお、小玉専務理事、山本常務理事はそれぞれの審議の対象となっている東京都東久留米市歯科医師会、東京都立川市歯科医師会の所属であり利害関係者の立場にあるため、法人法第95条第2項の定めにより、議決に参加していない。

##### 第2号議案 令和6年度 指定研究事業について

小林副理事長より、8020運動の推進に必要な調査及び研究に関する事業として、令和6年度指定研究を選定し研究助成を行う旨の提案がなされ、賛成挙手多数により承認された。

##### 第3号議案 令和6年度 調査研究事業健診業務委託費の役員に対する支払いについて

蓮池副理事長より、今年度に千葉県柏市で実施した調査研究事業「8020の実態把握に関するパイロット調査」については、健診業務を委託した一般社団法人柏歯科医師会会員に対して業務委託費を支払うこととしている。本事業において、業務委託先に本財団の小林慶太副理事長（柏歯科医師会会員）が含まれており、定款第33条「理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。」に基づき、小林副理事長が従事した健診委託業務の事実を資料で開示の上、小林副理事長へ業務委託費を支払うことについての提案がなされ、賛成挙手多数により承認された。

なお、小林副理事長は利害関係者の立場であるため、法人法第95条第2項の定めにより、議決に参加していない。

#### 5. 協 議

##### (1) 第22回フォーラム8020について

小林副理事長より、第22回フォーラム8020の企画案について説明がなされた後、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

##### (2) その他

#### 6. 閉会の辞

副理事長 吉岡 貴 司

議事録署名人

理 事 長	高 橋	英 登
監 事	熊 澤	榮 三
監 事	酒 井	昭 則

##### ③ 第7回理事会

開催日時 令和7年2月12日（水）午前11時～12時

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館801・802会議室

出席者 出席理事数21名、出席監事数2名

出席した理事の氏名

高橋英登、吉岡貴司、蓮池芳浩、小林慶太、小玉 剛、山本秀樹、寺島多実子、三代知史、伊藤明彦、小林隆太郎、住友雅人、田口円裕、西永英司、山本美登里

Web会議により出席した理事の氏名

近藤太郎、芦谷浩明、上野尚雄、谷 征大、中原 賢、丸山博之、吉田直美

出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠席者 欠席理事数4名

欠席した理事の氏名

飯島勝矢、柘植紳平、中尾潔貴、中谷道子

議長の氏名

定款第39条の規定に基づき、高橋英登理事長が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数25名のうち過半数の21名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また本理事会はWeb会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いに行える仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞 副理事長 蓮池芳浩

2. 挨拶 理事長 高橋英登

3. 報告

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

(1) 会務報告

議長の求めに応じ、小玉専務理事より会務現況として、以下の事項について報告がなされた。

①第6回理事会の議事録、②会誌「8020」の発行、③国民向け啓発小冊子の作成・配布、④第22回フォーラム8020、⑤8020運動ポスター、⑥理事長賞の贈呈、⑦噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑧調査研究事業、⑨助成事業（歯科保健活動助成事業・8020公募研究助成事業・公募研究課題の論文作成状況アンケート）、⑩後援等名義使用の許可、⑪ホームページの整備、⑫歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑬8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第15弾）

(2) その他

4. 議事

第1号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について

小玉専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり評議員辞任に伴う後任の評議員を令和7年3月19日開催の第28回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第2項「任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された

評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。」の規定により、前任者の任期満了時の令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任評議員	後任評議員候補者
山中 一剛 一般社団法人日本歯科商工協会 会長	渡辺 啓介 一般社団法人日本歯科商工協会 副会長

### 第2号議案 理事辞任に伴う後任理事の選任について

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下のとおり理事辞任に伴う後任の理事を令和7年3月19日開催の第28回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第3項「補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。」の規定により、前任者の任期満了時の令和7年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任理事	後任理事候補者
中谷 道子 サンスター株式会社 広報部長	前田 真理子 サンスター株式会社 研究開発統括部 ヘルス&ビューティー研究開発部 副部長
中尾 潔貴 一般社団法人日本歯科商工協会 前会長	山中 一剛 一般社団法人日本歯科商工協会 会長

### 第3号議案 第28回評議員会の開催について

小玉専務理事より、定款第36条理事会の権限第1項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下のとおり第28回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について提案がなされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人8020推進財団 第28回 評議員会議事次第	
日 時	令和7年3月19日(水) 午後2時
場 所	歯科医師会館3階東京都歯科医師会会議室(WE B併用)
1. 開会の辞 2. 議長の選出 3. 議事録署名人の選任 4. 挨拶 5. 報告 (1) 会務報告 (2) 令和7年度賛助会費の額 (3) 令和7年度事業計画及び収支予算 (4) 資金調達及び設備投資の見込みについて (5) その他	

## 6. 議 事

第1号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について

第2号議案 理事辞任に伴う後任理事の選任について

## 7. 協 議

(1) 公益法人認定法の一部改正による外部理事・外部監事の設置について

(2) その他

## 8. 閉会の辞

### 第4号議案 令和7年度賛助会費の額

山本常務理事より、令和7年度の賛助会費の額を令和6年度と同額とする旨、提案がなされ、全員異議なく承認した。

### 第5号議案 令和7年度事業計画及び収支予算

小玉専務理事より、事業計画の基本方針、事業内容について資料に基づき提案がなされ、小林副理事長より、事業計画「4. 新規研究事業」については、埼玉県幸手市で8020調査を実施する旨の補足説明がなされた後、山本常務理事より、令和7年度収支予算について以下の通り提案がなされ、全員異議なく承認した。

令和7年度収支予算はOAG税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成し、経常収益計は121,921,000円、経常費用計は131,114,000円、当期経常増減額は△9,193,000円。経常外増減の部の増減はなし、指定正味財産の増減の部の増減はなし、当期一般正味財産増減額は△9,193,000円、正味財産期末残高は740,592,854円となる。なお、特定資産取崩収入9,000,000円を計上し、経常費用に対する経常収益の不足分を補う。

また、損益計算ベースは収支予算書を基に、OAG税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成している。この損益計算ベースは、「減価償却費」及び「退職給付引当金」（但しゼロ円）についての記載もある。内閣府への報告は、この損益計算ベースの収支予算をもって行う。

### 第6号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

山本常務理事より、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの見込みについて、以下の通り提案され、全員異議なく承認した。

資金調達の見込みについては、当期中における金融機関からの借り入れの予定はない。

設備投資の見込みについては当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はない。

令和7年度事業は令和6年度事業を基本的に踏襲し実施することとしており、新規事業における「資金調達及び設備投資の見込みについて」は特に発生しない。

## 5. 協 議

(1) 公益法人認定法の一部改正による外部理事・外部監事の設置について

蓮池副理事長より、令和7年4月1日施行の公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（公益法人認定法）の一部改正によって、「理事及び監事の各1名以上は、法人外部の人材を選任すること」が新たな公益認定基準となったことについて説明。さらに、外部理事・監事の選任、役員報酬の有無、それに伴う定款の改正等の説明がなされた後、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

(2) その他

## 6. 閉会の辞

副理事長 吉岡貴司

### 議事録署名人

理事長 高橋英登  
監事 熊澤榮三  
監事 酒井昭則

## (2) 評議員会

### ① 第27回評議員会

日時：令和6年6月18日（火）午後3時～同4時

場所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館7階701・702会議室

出席者：出席評議員数19名 出席理事数20名 出席監事数2名

#### 出席した評議員の氏名

山中一剛、渡邊浩次、満武 純、鎗溝和子、三橋裕行

#### Web会議により出席した評議員の氏名

藤田 純、大島修一、井上恵司、良知義弘、橋本芳紀、橋本成人、脇田晴彦、森野 隆、齋藤秀子、岡林一登、植村大輔、下浦佳之、田中久美子、森 亨

#### 出席した理事の氏名

高橋英登、蓮池芳浩、小林慶太、小玉 剛、山本秀樹、寺島多実子、三代知史、近藤太郎、小林隆太郎、住友雅人、田口円裕、西永英司、山本美登里

#### Web会議により出席した理事の氏名

吉岡貴司、芦谷浩明、飯島勝矢、伊藤明彦、上野尚雄、丸山博之、吉田直美

#### 出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠席者：欠席評議員1名 欠席理事数5名

#### 欠席した評議員の氏名

川治久邦

#### 欠席した理事の氏名

谷 征大、柘植紳平、中尾潔貴、中谷道子、中原 賢

#### 議長の氏名

定款第21条の規定に基づき、満武 純評議員が議長に当たった。

議事録署名人：山中一剛、渡邊浩次

### 評議員会の議事の経過の要領及びその結果

#### ○会議の成立

開会に先立ち、小玉専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨が提案され、満武評議員が議長に選出された。

議長が出席者数を確認し、評議員総数20名のうち過半数の19名が出席となり、定款第22条「評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告し、開会を宣した。

また本評議員会はWeb会議システムを使用して開催する評議員会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

#### ○議長の選出

小玉専務理事より定款第21条の規定に基づき、満武評議員を議長に選出したい旨、提案があり、全員異議なく承認した。

#### ○議事録署名人の選任

小玉専務理事より定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき山中評議員、渡邊評議員を選任したい旨、提案があり全員異議なく承認した。

### 1. 報 告

#### (1) 会務報告

小玉専務理事より、会務現況として以下の事項について報告がなされた。

- ①第26回評議員会の開催、②第5回理事会の開催、③監事会の開催、④会誌「8020」の発行、⑤国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑥令和6年度8020運動ポスター募集、⑦理事長賞の贈呈、⑧噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑨ロゴマークの普及事業、⑩調査研究事業、⑪助成事業（歯科保健活動助成事業、8020公募研究事業）、⑫後援等名義使用の許可、⑬8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第14弾）、⑭会員レターの発行

#### (2) その他

### 2. 決議事項

#### 第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算について

定款第10条第1項「本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの附属明細書、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を経たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする」の規定に基づき、小玉専務理事より令和5年度事業報告について、山本常務理事より令和5年度収支決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録に関して資料に基づき説明がなされ、熊澤監事より監査報告が行われたのち、全員異議なく承認した。

#### 第2号議案 公益財団法人8020推進財団定款の一部改正について

蓮池副理事長より、定款第49条「この定款は、評議員会において、議決に加わることでできる評議員の3分の2以上の議決を経て変更することができる。(以下略)」に基づき、本財団が諸外国より8020運動の普及啓発事業の情報提供等の要請を受けた際に協力できるよう、また、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則に字句を合わせるため、公益財団法人8020推進財団定款の一部を改正する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

改正条文	現行条文
<p>(前略)</p> <p>第2章 目的及び事業</p> <p>(中略)</p> <p>(事業)</p> <p>第4条 (現行どおり)</p> <p>(1) (現行どおり)</p> <p>(2) (現行どおり)</p> <p>(3) (現行どおり)</p> <p>(4) (現行どおり)</p> <p>(5) (現行どおり)</p> <p>2 前項の事業については、<u>国内外</u>において行うものとする。</p> <p>(中略)</p> <p>(事業報告及び決算)</p> <p>第10条 本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの<u>附属明細書</u>、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を経たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする。</p> <p>2 (現行どおり)</p> <p>3 (現行どおり)</p> <p>(中略)</p> <p><u>附則</u></p> <p><u>この定款は、令和6年6月18日より施行する。</u></p>	<p>(前略)</p> <p>第2章 目的及び事業</p> <p>(中略)</p> <p>(事業)</p> <p>第4条 本財団は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <p>(1) 8020運動の推進の普及及び啓発に関する事業</p> <p>(2) 8020運動の推進に必要な情報の収集、分析及び提供に関する事業</p> <p>(3) 8020運動の推進に必要な調査及び研究に関する事業</p> <p>(4) 8020運動の推進に必要な活動に対する助成に関する事業</p> <p>(5) その他本財団の目的を達成するために必要な事業</p> <p>2 前項の事業については、<u>日本全国</u>において行うものとする。</p> <p>(中略)</p> <p>(事業報告及び決算)</p> <p>第10条 本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの<u>付属明細書</u>、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を経たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする。</p> <p>2 前項の財産目録等については、毎事業年度終了後3か月以内に行政庁に提出しなければならない。</p> <p>3 本財団は、前項の評議員会の終結後直ちに、法令の定めるところにより、貸借対照表を公告するものとする。</p> <p>(中略)</p> <p>(新設)</p>

### 3. 協議事項

#### (1) 第22回フォーラム8020について

小林副理事長より、第22回フォーラム8020について説明がなされた後、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

#### (2) その他

議事録署名人

議長	満武	純
評議員	山中	一剛
評議員	渡邊	浩次

#### ② 第28回評議員会

日時：令和7年3月19日（水）午後2時～同3時

場所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館3階東京都歯科医師会会議室

出席者：出席評議員数15名 出席理事数20名 出席監事数2名

出席した評議員の氏名

藤田 純、齋藤秀子、渡邊浩次、満武 純、三橋裕行、田中久美子

Web会議により出席した評議員の氏名

大島修一、井上恵司、良知義弘、脇田晴彦、森野 隆、山中一剛、岡林一登、植村大輔、下浦佳之

出席した理事の氏名

高橋英登、蓮池芳浩、小林慶太、小玉 剛、山本秀樹、三代知史、近藤太郎、飯島勝矢、伊藤明彦、小林隆太郎、住友雅人、山本美登里

Web会議により出席した理事の氏名

吉岡貴司、寺島多実子、上野尚雄、田口円裕、谷 征大、中原 賢、西永英司、丸山博之

出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠席者：欠席評議員5名 欠席理事数5名

欠席した評議員の氏名

橋本芳紀、橋本成人、川治久邦、鎌溝和子、森 亨

欠席した理事の氏名

芦谷浩明、柘植紳平、中尾潔貴、中谷道子、吉田直美

議長の氏名

定款第21条の規定に基づき、満武 純評議員が議長に当たった。

議事録署名人：藤田 純、三橋裕行

## 評議員会の議事の経過の要領及びその結果

### ○会議の成立

開会に先立ち、小玉専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨が提案され、満武評議員が議長に選出された。

議長が出席者数を確認し、評議員総数20名のうち過半数の15名が出席となり、定款第22条「評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告し、開会を宣した。

また本評議員会はWeb会議システムを使用して開催する評議員会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

### ○議長の選出

小玉専務理事より定款第21条の規定に基づき、満武評議員を議長に選出したい旨、提案があり、全員異議なく承認した。

### ○議事録署名人の選任

小玉専務理事より定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき藤田評議員、三橋評議員を選任したい旨、提案があり全員異議なく承認した。

## 1. 報 告

### (1) 会務報告

小玉専務理事より、会務現況として以下の事項について報告がなされた。

①第27回評議員会の開催、②第6回理事会の開催、③会誌「8020」の発行、④国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑤第22回フォーラム8020、⑥8020運動ポスター、⑦理事長賞の贈呈、⑧噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑨ロゴマークの普及事業、⑩調査研究事業、⑪助成事業（歯科保健活動助成事業、8020公募研究助成事業、公募研究課題の論文作成状況アンケート）、⑫令和6年度歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会、⑬指定研究事業、⑭後援名義等使用の許可、⑮ホームページの整備、⑯歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑰8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第15弾）

また、小林副理事長より、「令和5・6年度調査研究事業 8020の実態把握に関するパイロット調査実施報告書」に基づき、報告がなされた。

(2) 令和7年度賛助会費の額

山本常務理事

(3) 令和7年度事業計画及び収支予算

小玉専務理事

小林副理事長

山本常務理事

(4) 資金調達及び設備投資の見込みについて

山本常務理事

(5) その他

## 2. 決議事項

第1号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について

小玉専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」

の規定により、以下のとおり辞任に伴い後任の評議員を選任する旨の説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第2項「任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする」の規定により、前任者の任期満了時の令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任評議員	後任評議員候補者
山中 一剛 一般社団法人日本歯科商工協会 会長	渡辺 啓介 一般社団法人日本歯科商工協会 副会長

### 第2号議案 理事辞任に伴う後任理事の選任について

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下のとおり辞任に伴い後任の理事を選任する旨の説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第3項「補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする」の規定により、前任者の任期満了時の令和7年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任理事	後任理事候補者
中谷 道子 サンスター株式会社 広報部長	前田 真理子 サンスター株式会社 研究開発統括部 ヘルス&ビューティー研究開発部 副部長
中尾 潔貴 一般社団法人日本歯科商工協会 前会長	山中 一剛 一般社団法人日本歯科商工協会 会長

第2号議案の採決にあたって、山中一剛評議員は採決に参加していない。

## 3. 協議事項

### (1) 公益法人認定法の一部改正による外部理事・外部監事の設置について

蓮池副理事長より、令和7年4月1日施行の公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（公益法人認定法）の一部改正によって、理事及び監事のうち、各1名以上は、法人外部の人材を選任することが新たな公益認定基準となったことについて説明。さらに、外部理事・監事の選任、役員報酬の有無、それに伴う定款の改正等の説明がなされた後、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

### (2) その他

議事録署名人

議 長	満 武	純
評議員	藤 田	純
評議員	三 橋	裕 行

### (3) 委員会等

令和6年度事業計画に基づき事業を推進するため、下記の委員会を開催した。

#### ① ロゴマーク使用許可審査委員会

書 面 審 査	令和6年	4月19日	サンスター株式会社
書 面 審 査	令和6年	6月19日	サンスター株式会社
書 面 審 査	令和6年	7月19日	サンスター株式会社
書 面 審 査	令和6年	9月20日	サンスター株式会社
書 面 審 査	令和7年	3月28日	サンスター株式会社

#### ② 会誌編集委員会

第2回委員会 令和6年 6月 5日

#### ③ 地域歯科保健活動推進委員会

第2回委員会 令和6年 8月20日

第3回委員会 令和7年 2月12日

#### ④ 8020調査研究委員会

第3回委員会 令和7年 3月27日

#### ⑤ 8020ポスター審査会

令和6年度審査会 令和6年12月10日

#### ⑥ 調査研究事業等検討会

第2回検討会 令和6年 5月31日

## 9. 事業活動

### (1) 会誌「8020」の発行

会誌「8020」は、日常生活で役立つ歯と口の健康情報と歯科関係者に役立つ専門的な情報や本財団の事業報告などを盛り込み、年1回発行している。

令和6年度(24号)は「体の仕組みの不思議」をテーマに制作した。本会誌は賛助会員への配布とあわせて、関係団体や全国保健所等への配布を通じて広く情報発信し、ホームページに掲載することで8020運動や本財団の活動内容の周知を進めている。

### (2) 国民向け啓発小冊子の作成・配布

8020運動の普及と8020達成に役立つ啓発小冊子を作成し、全国の保健所・行政・関係団体を通じて広く配布し、国民に周知している。

啓発小冊子の企画・制作にあたっては、テーマ・年齢層を固定せず、様々な世代が日常生活で役立つ歯と口の健康情報を取りあげて作成している。

#### ① 「ヘルシーエイジング時代の8020達成マニュアル」

全年齢を対象としてライフステージに合ったケアを紹介し、本書の内容を日々実践することで「8020(はちまるにいまる)を達成しよう!」をテーマに小冊子「ヘルシーエイジング時代の8020達成マニュアル」を作成した。令和7年2月に賛助会員並びに全国の保健所・行政等の各関係方面に15万部配布し、ホームページに掲載した。なお、本事業は一般財団法人宝くじ協会の助成を受けて実施している。

## ② 「カスタムメイドマウスガードでスポーツ中の歯と口を守ろう」 8020読本

アスリートやスポーツ指導者、保護者、養護教諭などを対象に「マウスガードの役割と効果」、「受傷したときの対応」、「スポーツと咬合」などの理解を広げるため、小冊子「カスタムメイドマウスガードでスポーツ中の歯と口を守ろう」を作成した。なお、賛助会員並びに全国の保健所・行政等の各関係方面に配布するとともに、財団ホームページに掲載を予定している。

## (3) 第22回フォーラム8020の開催

「ヘルシーエイジング時代の歯科」をテーマに令和6年11月9日(土)に歯科医師会館にて開催した。

今年度のフォーラムでは、本格的な長寿社会を迎えた日本において、単なる寿命の延伸だけでなく生活の質が伴った「健康的な老化」＝「ヘルシーエイジング」を実現するために、歯科の果たす役割と最新の歯科医療について知見を広めるべく、各分野の専門家から講演いただき総合討論を行った。講演動画は1月末にホームページで公開した。

### <開催概要>

テーマ「ヘルシーエイジング時代の歯科」

○挨拶：高橋 英登 (公益財団法人8020推進財団 理事長)

○来賓挨拶：武見 敬三 参議院議員 (前厚生労働大臣)

○特別講演：「ライフコースを通じた歯科口腔保健の推進」

講師：小嶺 祐子 氏 (厚生労働省 医政局歯科保健課 課長)

○講演1「WHO世界口腔保健アクションプランとヘルシーエイジング」

講師：原田 有理子 氏 (WHO本部 口腔保健プログラム テクニカルオフィサー)

○講演2「FDI (世界歯科医師連盟) とヘルシーエイジング」

講師：小川 祐司 氏 (FDI理事)

○講演3「歯科イノベーションによる健康長寿社会の実現」

講師：川口 陽子 氏 (日本歯科医学会 副会長)

○講演4「日本歯科医師会の取り組み～ヘルシーエイジング・ウェルビーイングを考える～」

講師：山本 秀樹 氏 (公益社団法人日本歯科医師会 常務理事)

○総合討論「ヘルシーエイジングにおける歯科医療」

座長：小林 慶太 (公益財団法人8020推進財団 副理事長)

シンポジスト：小嶺祐子氏、原田有理子氏、小川祐司氏、川口陽子氏、山本秀樹氏

※ご所属先・役職は開催時の表記

## (4) 8020運動ポスターの募集

ポスター制作を通じて、国民の8020運動や歯の健康に対する認知・理解をより一層高めることを目的に「8020運動ポスター」の募集を行っている。

令和6年度は4月1日から9月30日までに応募のあった992作品について12月10日(火)に審査会を開催し、12作品を選出した。

<最優秀賞(1名)>古川 琴姫

<優 秀 賞(3名)>丹生谷瑛香、富田 悠愛、和田 勉

<入 選(8名)>廣内 一葉、今田 希海、尾首 愛、金藤 莉那、山口 玲奈、  
西松 歩実、酒元 菜奈、李 偲璟

なお、審査結果・入選作品・受賞者のコメント等をホームページに掲載し、併せて会誌「8020」第24号でも紹介した。

#### (5) 8020推進財団理事長賞の贈呈

歯の維持がその後の健康との関わりを含め、人生に大きく影響することの重要性について8020達成者の表彰を通して社会に提言・理解を促進することを目的に8020推進財団理事長賞を贈呈した。被表彰者は各都道府県歯科医師会を通じて推薦申請され、都道府県歯科医師会が行っている事業にて表彰を行っている。

令和6年度は、青森県、岩手県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、千葉県、埼玉県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、奈良県、大阪府、広島県、島根県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県、熊本県、宮崎県、沖縄県の30府県より申請がなされ、賞状を授与した。

#### (6) 噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業

8020運動の推進、歯の健康保持に対する関心を高める一環として実施している。ガムの提供は従来の歯科医師会のほか、令和6年度からは学校・市区町村保健センター等からの事業申請に対して審査を実施したのちガムを提供した。提供した団体は下記の通り。

##### 【歯科医師会】

大阪府歯科医師会、留萌歯科医師会

##### 【市区町村・保健所】

長野県千曲市、愛知県明日香村、長野県中野市、宮城県気仙沼市、群馬県安中市、福岡県飯塚市、北海道帯広保健所、三重県菟野町、大分市保健所、茨城県八千代町、福島県郡山市、熊本市東区役所、和歌山市保健所、幸手市役所、愛媛県伊予郡砥部町、静岡県吉田町、東浅川保健福祉センター、馬路村役場、静岡県掛川市、和歌山県、埼玉県和光市

##### 【小中高等学校】

岐阜県郡上市立八幡小学校、埼玉県所沢市立宮前小学校、横浜市立瀬戸ヶ谷小学校、岩国市立錦清流小学校、熊本県宇城市立豊野小学校、宮崎市立瓜生野小学校、岡山県立岡山聾学校、山口市立白石小学校、栃木県下都賀郡壬生町立壬生中学校、愛知県立渥美農業高等学校

##### 【その他】

シダックスフードサービス、十勝養護教員会、和歌山県歯科衛生士会、全国土木建築国民健康保険組合、山梨県歯科衛生士会、吉田学園医療専門学校

#### (7) ロゴマークの普及

本財団のロゴマークを商品や制作物に使用することで8020運動を普及啓発する目的に、賛助会員からロゴマーク使用申請があったものに対して審査し使用を許可している。

令和6年度は賛助会員から5件のロゴマーク使用申請があり、ロゴマーク使用許可審査委員会で使用目的・用途、制作物や商品が8020運動に相応しいものか、ロゴマーク使用規約に準拠しているかなどの審査を実施し理事長に報告した結果、全ての申請に対してロゴマークの使用を許可した。

#### (8) 歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会の開催

地域や研究機関を通じて8020運動に関わる活動・研究を広く周知することを目的に、歯科保健活動事業および公募研究の中から地域等で取り組みやすい方法・事業例や8020運動に興味関心を抱くような課題を各3題選定し、報告会・発表会を開催している。

今年度は、令和4年度に採択された事業・研究課題より講演・質疑応答を収録し、9月下旬にホームページで公開した。

① 歯科保健活動事業報告会（令和4年度報告より）

障がい者における生涯歯科健診へのアプローチ in Iwate 一般社団法人 岩手県歯科医師会 熊谷 優志 先生
「咀嚼能力の維持・向上を期待した簡便なトレーニング ～ガム噛みトレーニング～」と転倒リスクの相関性評価 一般社団法人 八千代市歯科医師会 中澤 正博 先生
認知症コホート調査における認知症と歯科疾患の関連研究 荒尾市歯科医師会 田中 文丸 先生

② 公募研究発表会（令和4年度報告より）

義歯装着が高齢者の歩行運動に及ぼす影響－3次元解析システムによる検討－ 渡邊 諒 氏（朝日大学歯学部 口腔機能修復学講座歯科補綴学分野 講師）
口腔常在微生物叢が肺常在微生物叢と呼吸機能低下に及ぼす影響の検討による、 慢性閉塞性肺疾患の一次予防アプローチの開発 神尾 敬子 氏（東京女子医科大学 内科学講座 呼吸器内科学分野 助教）
根面う蝕細菌叢のゲノム解析・生理代謝機能解析 平石 典子 氏（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科う蝕制御学分野 研究教授）

※ご所属先・役職は収録時の表記

(9) 後援等名義使用の許可

令和6年度は以下の関係団体より依頼を受け、後援名義の貸与を了承した。

- ・第45回むし歯予防全国大会 in FUKUI  
(申請日：令和6年4月15日)  
主催：NPO 法人日本フッ化物むし歯予防協会、一般社団法人福井県歯科医師会
- ・第13回全国歯科医師会野球大会  
(申請日：令和6年5月7日)  
主催：日本歯科医師野球連盟
- ・第28回奈良県高齢者いい歯のコンクール  
(申請日：令和6年5月21日)  
主催：一般社団法人奈良県歯科医師会
- ・世界口腔保健学術大会記念「第29回口腔保健シンポジウム」  
(申請日：令和6年6月11日)  
主催：公益社団法人日本歯科医師会

- ・第45回全国歯科保健大会  
(申請日：令和6年8月7日)  
主催：厚生労働省
- ・第23回秋田県歯科保健大会並びに歯科保健医療フォーラム  
(申請日：令和6年10月17日)  
主催：秋田県、秋田県教育委員会、秋田県歯科医師会
- ・「いい歯キラメキ2025」キャンペーン(サンスターファミリーミュージカル)  
(申請日：令和6年11月19日)  
主催：サンスター株式会社
- ・第43回日本顎咬合学会学術大会・公開フォーラム  
(申請日：令和6年12月26日)  
主催：特定非営利活動法人 日本顎咬合学会
- ・WEB市民セミナーin 横浜南 and かながわ  
「“歯ならびと健康”ー子どもたちの未来のためにー」  
(申請日：令和7年2月7日)  
主催：日本臨床矯正歯科医会神奈川支部

#### (10) ホームページの整備

「8020運動」のさらなる周知・啓発、歯と口の健康及び全身との関係に関する情報を広く国民・社会に提供するため、ホームページの整備・充実を進めている。

令和6年度は国民向けコンテンツ「ナオミ通信」の情報更新・充実化や、8020読本「カスタムメイドマウスガードでスポーツ中の歯と口を守ろう」と連動したコンテンツ作成を進めており、「8020動画コーナー」では8020読本「自分の歯で一生おいしく食べるために」を基にアニメーション動画を制作し公開した。

また、歯科関係者向けに歯科口腔関連情報をまとめた「データバンク」の情報更新・充実化も進めている。

#### (11) 8020アンケート・プレゼントキャンペーン(第15弾)

令和6年11月1日から令和7年2月28日まで、本財団のホームページにおいて、一般の方を対象として「8020運動」の認知度や、ホームページの閲覧・利用状況等に関するアンケート調査を実施した。アンケート参加者には、抽選で100名に本財団発行の8020啓発小冊子と株式会社ロッテの協力による賞品をプレゼントした。

なお、アンケートから「8020運動」の認知度が80.1%にのぼることが分かった。

また、本財団ホームページの閲覧目的は「歯のみがき方、お口の手入れの方法を知るため」が51.9%、「歯やお口についてのマメ知識」が47.4%、「生活情報を知るため」が27.0%との調査が得られた。

#### (12) 歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ

平成23年8月10日に歯科口腔保健法が公布され、都道府県における「歯科保健条例」の制定状況を本財団ホームページ内のマップにまとめ、国民に周知している。

令和7年3月末現在、45道府県および242市区町村で条例が制定されている。

### (13) 調査研究事業

8020運動や歯科・口腔の健康と全身の健康の関連等について、調査・研究を実施している。

令和6年度は柏市・柏歯科医師会の協力を得て、「8020の実態把握に関するパイロット調査」を実施した。本調査は柏市在住で令和6年に80歳になる方を対象とし、6月から7月にかけて集団診査会場、柏市歯科医師会会員の協力歯科医院、居宅、介護施設等において口腔内診査と質問紙調査を行った。

また、令和7年3月に実施報告書を作成し、関係団体へ配布するとともにホームページに掲載した。

### (14) 指定研究事業

8020運動の推進に必要な調査・研究に関する事業として、将来に向けて有用と思われる研究や本財団が直面する課題に対処するため、研究を指定し助成を行っている。

令和6年度は下記の研究について、本財団理事が審査を実施し、理事会を経て採択と助成額を決定した。

研究者	所属・職名	研究課題
小川 祐司	新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔健康科学講座 予防歯科学分野 教授	8020 達成が超高齢期のNCDs 発症予防、 フレイル対応、QOL に及ぼす影響について

### (15) 助成事業

#### ① 令和6年度歯科保健活動事業への助成交付

8月20日（火）に第2回地域歯科保健活動推進委員会を開催し、6月30日の締切りまでに応募のあった28題の歯科保健活動事業助成交付申請について審査を行い、理事会を経て下記の21題を採択し、各事業に対して助成交付を行った。

事業名と申請団体名は以下のとおり。

申請団体	事業	実施組織
一般社団法人 宮城県歯科医師会	食育を通じた歯と口腔の健康づくり事業	宮城県歯科医師会、宮城県
一般社団法人 新潟県歯科医師会	歯科医療従事者の保健指導力向上による 「かかりつけ歯科医」機能強化事業	新潟県歯科医師会、公益財団法人新潟県歯科 保健協会
一般社団法人 福井県歯科医師会	フッ化物洗口普及啓発事業	福井県歯科医師会
一般社団法人 仙台歯科医師会	青年期における歯科保健啓発活動「ハロー フロスプロジェクト」の推進	仙台歯科医師会、東北大学大学院歯学研究 科、東北大学歯学部歯科医療研究会、仙台市 歯と口の健康づくりネットワーク会議・仙台市
一般社団法人 大崎歯科医師会	高齢者介護施設における口腔ケア推進事業	大崎歯科医師会
一般社団法人 会津若松歯科医師会	医科歯科連携の事業	会津若松歯科医師会
一般社団法人 八千代市歯科医師会	転倒リスクと咀嚼能力の相関性評価研究 ～高齢者以降を対象とする～	八千代市歯科医師会、合同会社UNTRACKED、 東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーショ ン学分野、八千代市（後援）

公益社団法人 東京都八南歯科医師会	日野市歯科医会オーラルフレイル予防促進事業	東京都八南歯科医師会日野支部(日野市歯科医師会)
公益社団法人 東京都町田市歯科医師会	高齢者歯科口腔機能健診	東京都町田市歯科医師会、町田市
一般社団法人 東京都東久留米市 歯科医師会	東久留米市内の保育園における口腔衛生指導	東久留米市歯科医師会、東京都歯科衛生士会、東久留米市
一般社団法人 東京都立川市歯科医師会	障害者施設通所者に対するフッ化物応用事業	東京都立川市歯科医師会
一般社団法人 横浜市歯科医師会	幼児期のう蝕罹患率の低下ならび乳歯列期から混合歯列期の口腔ケア及びかかりつけ歯科医受診勧奨を目的とした「しおり」や動画などを含むWeb活用による啓発活動	横浜市歯科医師会
一般社団法人 厚木歯科医師会	清川村におけるオーラルフレイル健診と改善指導	厚木歯科医師会、清川村
公益社団法人 長野市歯科医師会	障害者施設での歯科健診、および口腔ケアの実施	長野市歯科医師会
坂井地区歯科医師会	EXCEL を活用した「【OF-5 準拠】オーラルフレイルチェック」の開発と介護予防事業における有用性調査	坂井地区歯科医師会
一般社団法人 西宮市歯科医師会	人間ドックにおける歯周病唾液検査導入の取り組みについて	西宮市歯科医師会、西宮市医師会
一般社団法人 福岡市歯科医師会	歯科口腔保健の普及啓発事業・歯の喪失防止に関する調査事業	福岡市歯科医師会
一般社団法人 佐世保市歯科医師会	多世代多職種連携によるフレイルドミノの予防啓発活動	佐世保市歯科医師会、長崎県歯科衛生士会佐世保支部、長崎短期大学(地域共生学科 食物栄養コースおよび介護福祉コース)、長崎国際大学(健康管理学部 健康栄養学科、人間社会学部 社会福祉学科)、佐世保市相浦地域包括支援センター、佐世保市早岐地域包括支援センター
広島市歯科医療福祉対策協議会	歯科診療所における介護予防・日常生活支援総合事業の活性化事業	広島市歯科医療福祉対策協議会(広島市歯科医師会・安佐歯科医師会・佐伯歯科医師会・安芸歯科医師会)
特定非営利活動法人 はーもにープロジェクト	地域歯科保健サポート事業【人材バンクとネットワーク形成】	はーもにープロジェクト
東北大学東北メディカル・メガバンク機構 地域口腔健康科学分野	白石市における地域特性を加味した乳歯う蝕発生要因の探索	東北大学東北メディカル・メガバンク機構地域口腔健康科学分野、白石市健康推進課、仙南歯科医師会白石支部

なお、令和7年度からは、助成交付金をより有効的に活用いただくため事業スケジュールを早めることとし、令和6年11月1日から12月16日までの期間中、23件の申請を受け付けた。令和7年2月12日開催の第3回地域歯科保健活動推進委員会にて審査を実施し、採択については令和7年度開催の理事会にて決議する。

② 令和6年度8020公募研究事業

令和5年12月20日から令和6年1月19日までの募集期間中に申請された40題の公募研究課題について、令和6年3月26日（水）開催の第2回8020調査研究委員会にて審査を実施し、令和6年5月29日（水）開催の第5回理事会を経て下記の17題の採択と助成交付額を決定した。

研究課題と申請者等は下表のとおり。

<公募研究課題>

1. 歯科口腔保健に関する疫学研究
2. 8020と全身の健康（生活習慣病、フレイル、オーラルフレイル、認知症、ADL、QOL等）に関する研究
3. 介護・医療（終末期医療を含む）等に関する研究
4. 小児・高齢者の口腔機能（摂食・嚥下機能を含む）及び口腔健康管理等に関する研究
5. オーラルヘルスプロモーションおよび歯の喪失防止に関する研究
6. 自由研究課題

申請者	所属	職名	研究課題
岩井 浩明	朝日大学歯学部 口腔感染医療学講座 社会口腔保健学分野	講師	後期高齢者歯科健診データを用いた口腔の健康状態と認知症との関連
川下 由美子	長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 口腔保健学	助教	五島市住民の歯周疾患と全身との関連についての縦断研究
中村 博幸	琉球大学大学院医学研究科 顎顔面口腔機能再建学	教授	健常高齢者における脳萎縮と口腔機能の関連と将来の認知機能低下への影響
岩崎 正則	北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学講座 予防歯科学教室	教授	大規模データベースを用いた高齢期のウェルビーイングとオーラルフレイルの関係の解明
三野 卓哉	大阪歯科大学歯学部 欠損歯列補綴咬合学講座	講師	食事時の咀嚼運動習慣が認知症の発症に与える影響：地域在住高齢者コホート研究
佐藤 美寿々	北海道大学大学院歯学研究院 予防歯科学教室	助教	糖尿病をもつ人の歯科受療行動と糖尿病診療ガイドライン改定の影響ービッグデータを活用した実態把握及び受診につながる要因の分析ー
浅井 啓太	京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学講座 口腔外科分野	講師	咀嚼能力と循環器疾患による死亡に関するコホート研究～ながはま0次予防コホート事業～
池邊 一典	大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座	教授	通いの場における口腔運動プログラムが地域在住高齢者の口腔機能・全身に与える影響と行動変容に関連する因子の検討
堀 美喜	愛知学院大学歯学部 歯科理工学講座	講師	音声入力による自動歯式記録システムの構築ー生成系人工知能制御プログラムの開発ー
渡邊 諒	朝日大学歯学部	講師	義歯装着による咬合回復が高齢者の歩行運動に及ぼす影響ー計測システムの精度評価と改善についてー

柳田 陵介	東京医科歯科大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野	医員・ 大学院生 (兼任)	地域在住高齢者の口腔機能に関する国際比較
大川 純平	新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野	助教	舌苔の付着や舌の乾燥は口腔機能および身体機能と関連するか：深層学習を用いた舌の画像解析
村上 和裕	新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野	助教	歯の喪失のリスクファクターとなる口腔状態と口腔機能の検討
長澤 麻沙子	新潟大学大学院医歯学総合研究科 生体歯科補綴学分野	助教	垂直歯根破折の予防と予知性の高い治療法を目指した多施設臨床研究
松下 祐樹	長崎大学歯学部 細胞生物学分野	准教授	診療病状説明への医療用チャットボット導入が拓く 歯科医療 DX
藤居 泰行	東京医科大学医学部 口腔外科学分野	助教	微生物由来メタボライトの機能解析による口腔 粘膜炎発症機序の解明
小野 すみれ	山梨大学医学部 歯科口腔外科	医員	交換歯列期における咬合状態と平衡機能との関連性

### ③ 歯科保健活動助成事業・8020公募研究の報告書作成

令和5年度歯科保健活動助成事業および令和5年度8020公募研究の成果をまとめた報告書をそれぞれ作成し、令和6年10月に賛助会員並びに関係方面に配布した。

また、各報告書抄録をホームページに掲載し、事業を周知した。

### ④ 8020公募研究課題 論文作成状況に関するアンケートの実施

8020公募研究助成事業において、採択した研究課題について、8020運動に関連する研究の情報収集および研究成果を周知する目的でアンケートを実施している。

令和6年度は令和5年度採択課題の研究者と、平成29年度以降に採択され昨年度時点で論文執筆中・審査中と回答した研究者に対してアンケートへの回答と論文情報の提供を依頼し情報収集した。

また、本アンケートで得られた論文情報（論文題名・DOI）を取りまとめ、令和7年3月にホームページ「データバンク」に研究報告書抄録とともに掲載した。

### (16) 会員レターの発行

本財団の活動報告をまとめた会員レターを年2回発行し、賛助会員等に送付・報告している。本年度は8月に第36号、3月に第37号を発行した。

### (17) 賛助会員証の発行

本年度の入会者に賛助会員証を発行・送付した。